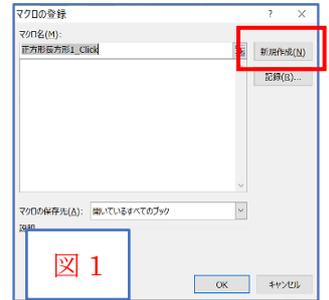


九九表をプログラミング（VBA）で作る

- 1.Excel Book 九九表VBA（レベルアップ）を開き下さい
- 2.Sheet1に九九表がフォーマットしてあるのでそれを使用して九九表を完成させます
※以降の操作は、本来はリボンの「開発」タブを表示して行う操作ですが、今回はリボン以
外の方法で作成します

3.Sheet1の九九表にかからない場所に挿入タブを使い図形を一つ作っ
てください。（今回は「正方形／長方形」を使い説明します）

4.描画した図形を選択し、「マクロの登録」を選択すると「マクロの登録」ダイアログボ
ックスが表示されるので「新規作成」ボタンをクリックして下さい（図1）



4.VBAのプログラムを作成する画面が開きます（図2）

5.Sub End Subの間の行に、別紙のコードを入力してく
ださい。スペルが正しければ単語の先頭文字は大文字になり
ます。

6.画面の左上に Excel のアイコンがあるのでクリックする
と、Sheet1が表示されます。

7.ここで一旦、「名前を付けて保存」を行ってください。

8.図形をクリックすると九九計算が自動実行され九九表が
完成します

9.コードが間違っていると図形をクリックしても九九表が
作成されません。コンパイルエラーの警告が表示される
ので「OK」をクリック。リセットボタンをクリックした
後コード内をクリックすると間違っている行が赤字で表
示されるので修正して下さい。（図3）

10.修正後必ず上書き保存して下さい。

11.画面左上に Excel のアイコンがあるのでクリックする
と、Sheet1が再度表示されます。図形をクリックして下
さい。

12.削除するためのボタンを作る

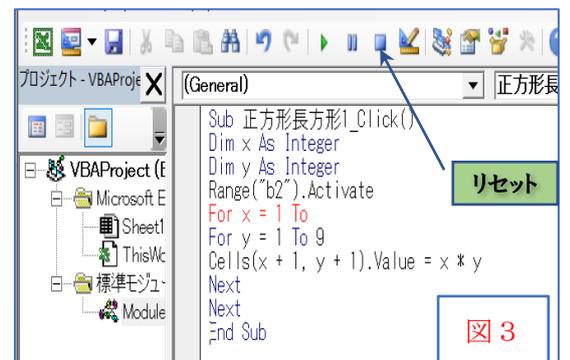
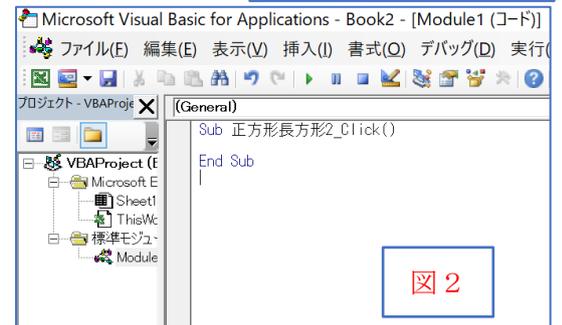
- ① Sheet1 上に図形でボタンを作る。図形を選択し、「マクロの登録」を選択する。図4が開くの
で「新規作成」ボタンをクリック。

- ② VBAのコードの画面が開くので Sub 文章と End Sub 文章の
間に以下のコードを入力して下さい。

```
range("B2:J10").select  
selection.clearcontents  
range("L10").select
```

14.上書き保存を行い、画面の左上の Excel のアイコンをクリックする
と、Sheet1が再度表示されます。

新たに作成した図形をクリックすると九九表の九九が削除されま
す。以上で終わりです



(別紙)

```
dim x as integer
dim y as integer

range("b2").activate
for x = 1 to 9
for y = 1 to 9
cells(x + 1, y + 1).value = x * y
next
next
```

英字及び記号はすべて半角小文字で入力して下さい

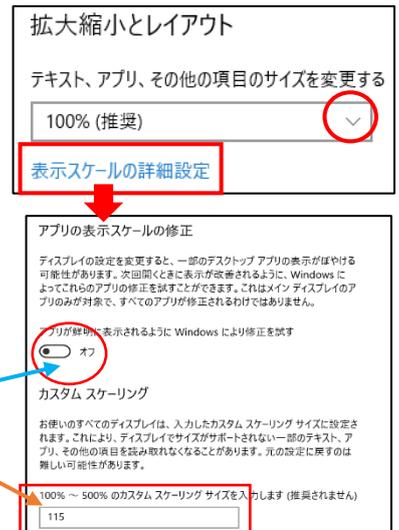
□は半角スペースです

入力が正しければ単語の先頭文字は半角大文字に自動変換されます

Windows10 (バージョン 1803・1809) をカスタマイズする

1. テキストやその他の項目 (アイコン・タイトル・メニュー等) を任意のサイズに調整

- ① スタート≫設定≫システム≫ディスプレイ と進み 右側ペインの上部にある「拡大縮小とレイアウト」の「テキスト、アプリ、その他の項目のサイズを変更する」で設定する。
- ② 任意の倍率に変更する場合は、「表示スケールの詳細設定」の文字上をクリックし、表示された「カスタムスケーリング」のテキストボックスに数値を入力する (115 又は 120 を入力) …設定値は下記の表の解像度を参考に、任意の値を設定する。また、アプリの表示スケールの修正のオフをオンにすると、表示のぼやけが解消される。適用ボタンをクリック。
- ③ サインアウトをするように表示される場合は、「サインアウト」を行うことにより設定が有効になる。



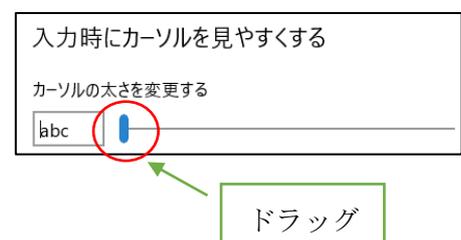
上記の設定値は下表の「ディスプレイ (画面) の解像度」を参考にしながら設定して下さい。

規格名	解像度	説明	表示スケール設定値
WXGA	1024×768	2006年頃からのノートPCに多いサイズ	100~125%
	1360×768		
	1280×800		
FWXGA	1366×768	最近のノートPCの主流サイズ	150~175%
FHD	1920×1080	最近の大型ワイド液晶の主流サイズ	
WUXGA	1920×1200	クリエイター向けのワイド液晶に多いサイズ	

※「表示スケール設定値」はあくまでも目安の値です

2. 入力カーソルの太さの変更

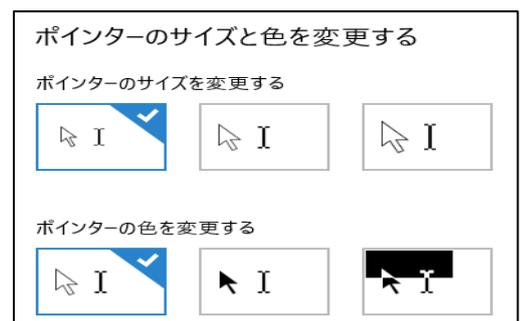
- ① スタート≫設定≫簡単操作≫ (左ペイン) カーソルとポインターのサイズをクリック
- ② 右ペイン「カーソルの太さを変更する」のスケールスライダーをドラッグして太さを決める (2か3が良い)



3. マウスポインターの大きさの変更

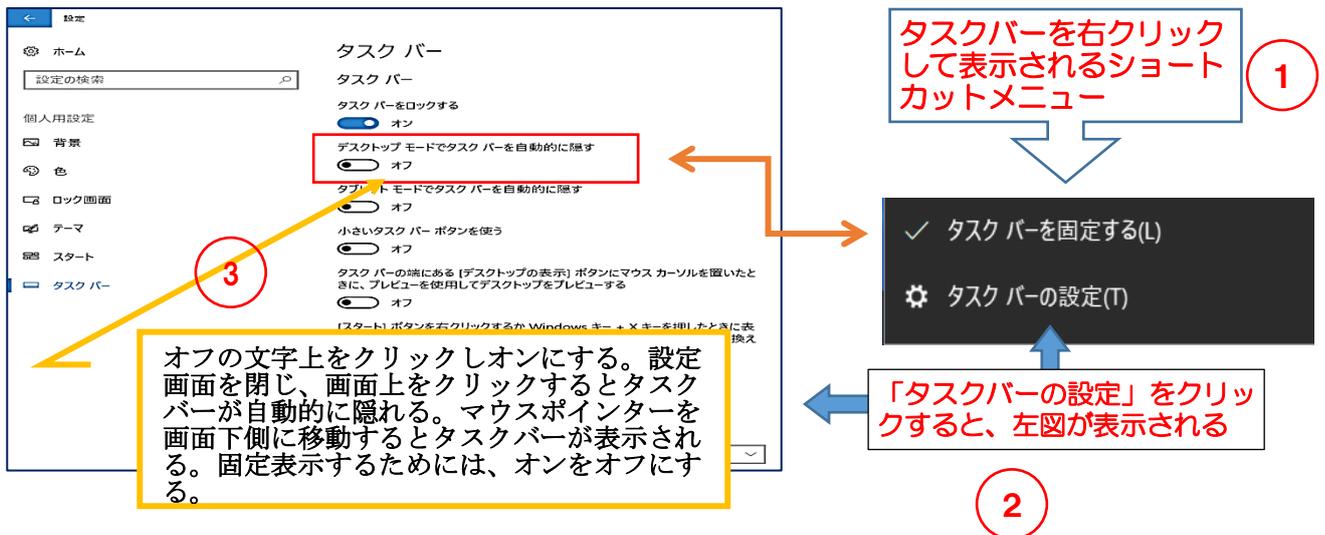
- ① スタート≫設定≫簡単操作≫ (左ペイン) カーソルとポインターのサイズをクリック
- ② 右ペイン「ポインターのサイズを変更する」でサイズを選択する

(注) マウスポインターの大きさは、「コントロールパネル」からも変更可能ですが今回は省略しました。



4. タスクバーが消えた、動いた

タスクバーの各種設定は、スタート≫設定≫個人用設定≫（左ペイン）タスクバーをクリックして表示される右ペインで行う（下図 左図）。又は、① ② の方法



5. Office アプリ編集画面での表示の拡大縮小

画面右下にある表示倍率の変更ボタンをクリックして拡大縮小しようと思わぬ倍率に操作してしまうことがあるので、+又は-ボタンの部分をクリックして行う。また、-ボタンをクリックする時に、左側にある文書表示（エクセルはブックの表示）ボタンを押してしまう場合がある。その時は、ワードは「印刷レイアウト」、エクセルは「標準」のボタンで元に戻すことができる。

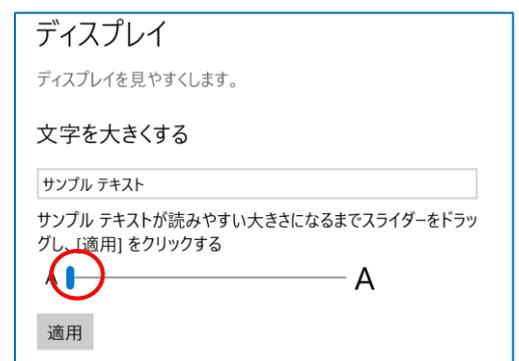


Windows10（バージョン・1809）をカスタマイズの追加

Windows 10バージョン 1809では、リボンの文字（テキスト）の大きさや、Office アプリの編集画面を除く部分の文字（テキスト）の大きさを変更することができる。

6. Office アプリの文字（テキスト）の大きさの変更

- ① スタート≫設定≫簡単操作≫（左ペイン）でディスプレイをクリック
- ② 右ペインの「文字を大きくする」のスライダーをドラッグして文字の大きさを設定
- ③ 115%~120%が適当
- ④ 「適用」ボタンをクリックする



(注) 上記の各種設定値は画面の解像度によって効果が違うので、設定値は個々のパソコンの解像度を考慮し、実証的に設定することが必要